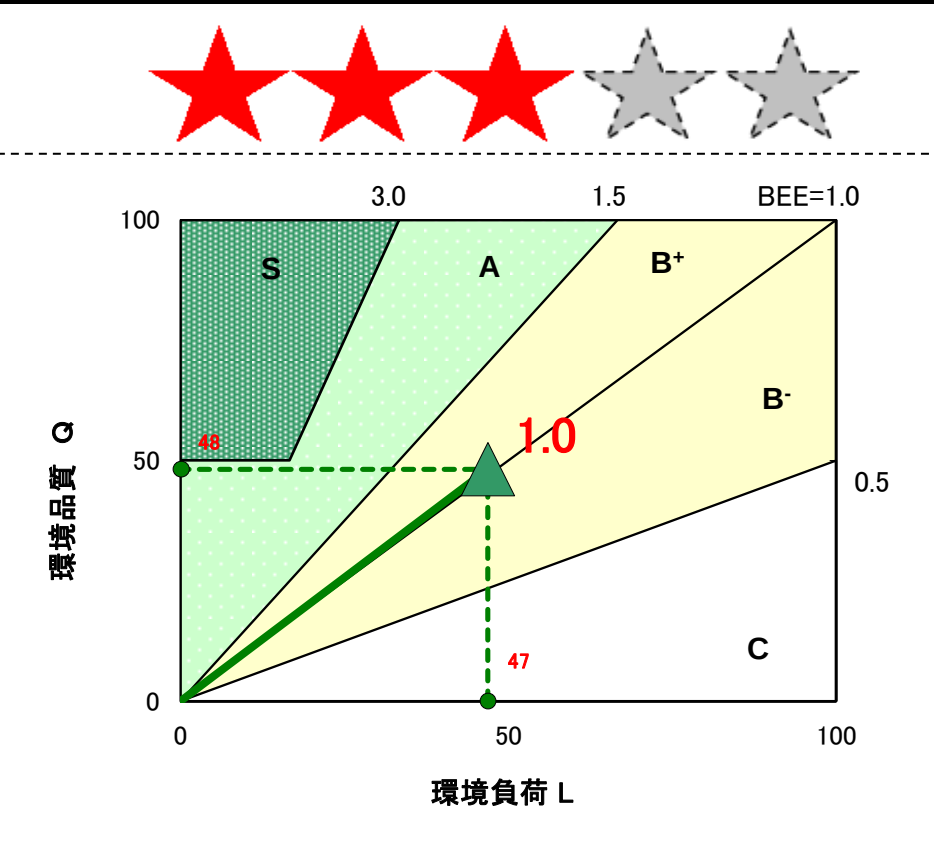


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)東熊本病院移転新築工事	階数	地上4F	
建設地	熊本市東区花立5丁目3866-1、3866	構造	RC造	
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火	平均居住人員	0 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年4月25日	
敷地面積	1,907 m ²	作成者	上村 絢茄	
建築面積	1,162 m ²	確認日	2018年4月26日	
延床面積	2,967 m ²	確認者	吉永 拓郎	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



BEE = 1.0

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



排出率

84%

2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

重点事項総合評価	評価点
	78

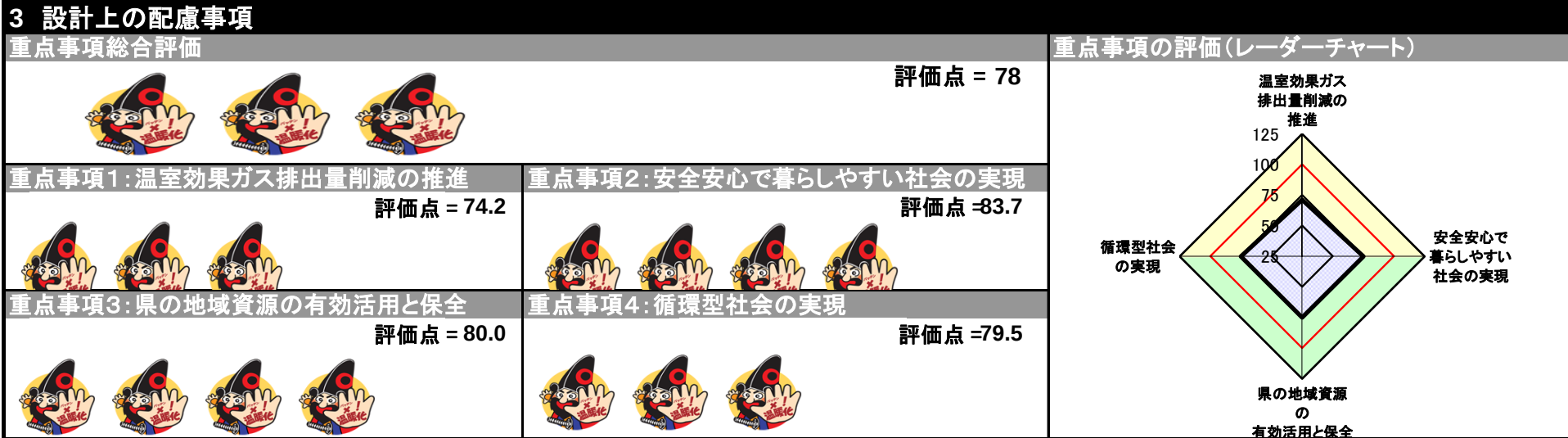
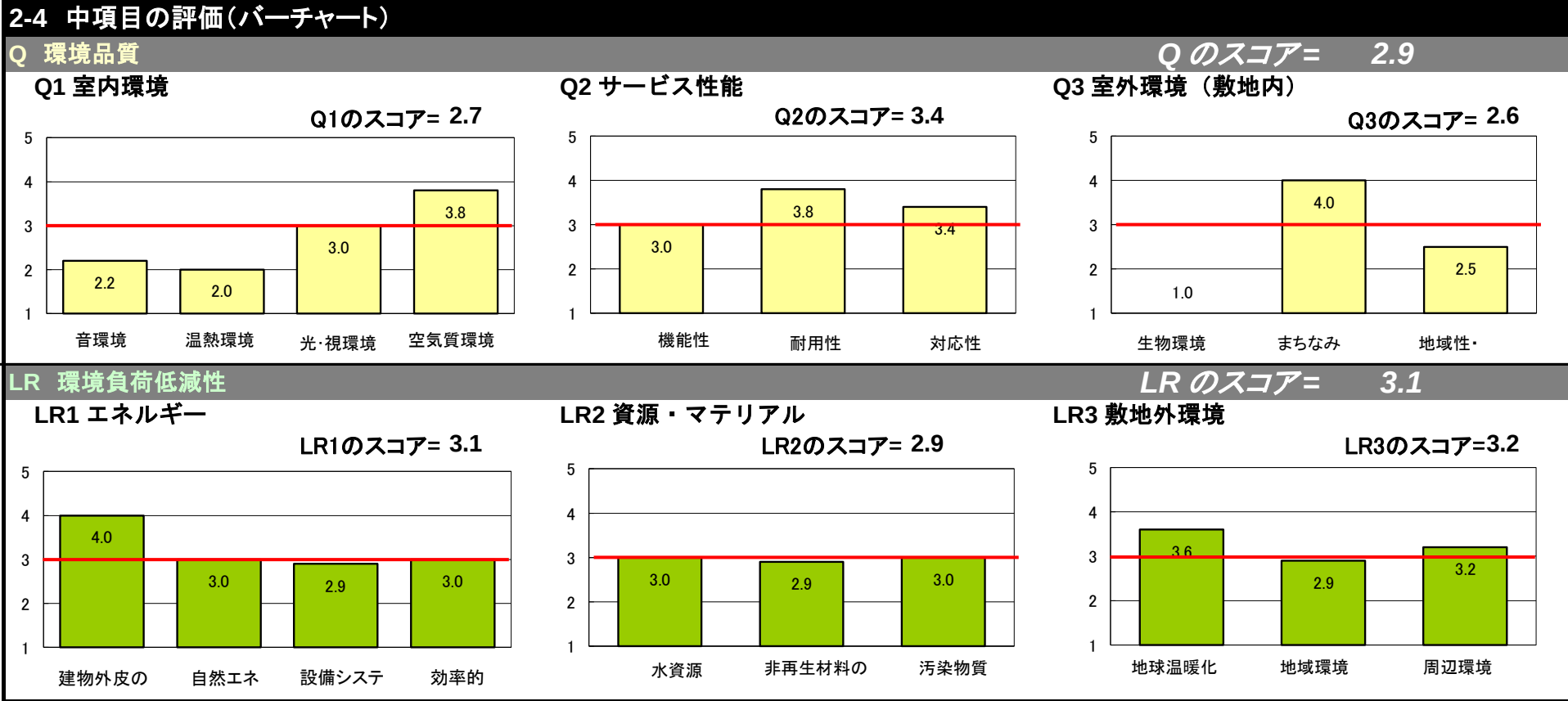
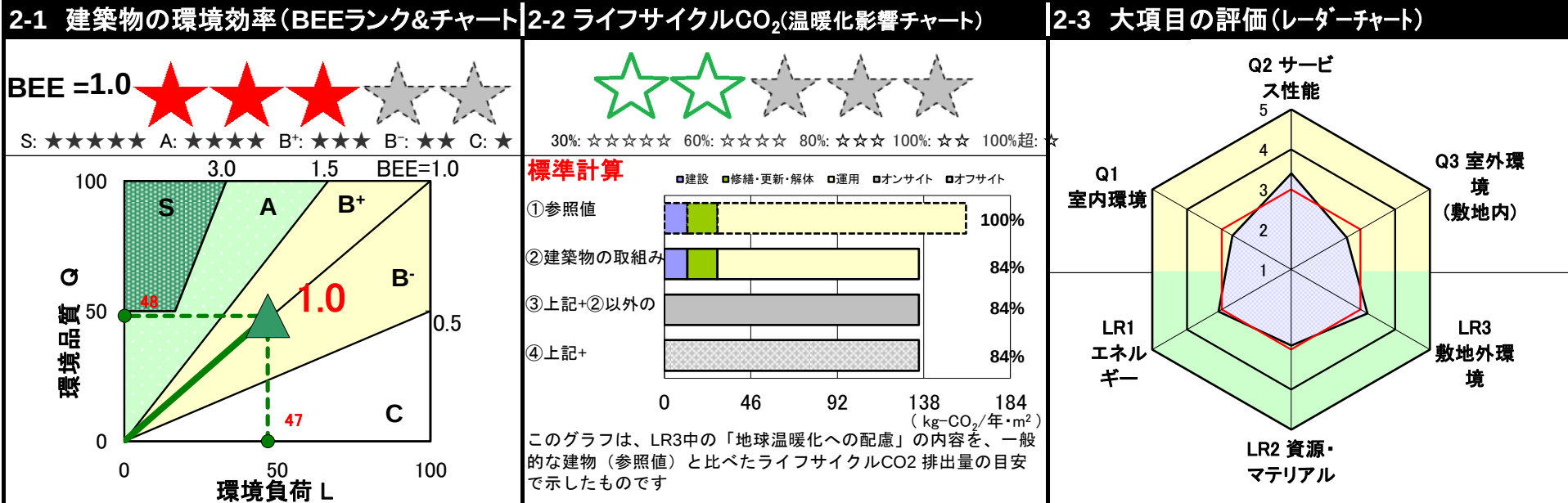
評価点		■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	74.2	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	83.7	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	80.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現	79.5	60点以上80点未満	
		40点以上60点未満	
		40点未満	
		※評価点は、100点以上が推奨です。	

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)東熊本病院移転新築工事	階数	地上4F	
建設地	熊本市東区花立5丁目3866-1、3866-2	構造	RC造	
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	52 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年4月25日	
敷地面積	1,907 m ²	作成者	上村 絢茄	
建築面積	1,162 m ²	確認日	2018年4月26日	
延床面積	2,967 m ²	確認者	吉永 拓郎	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)東熊本病院移転新築工事■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40		-	2.7
1 音環境						2.1	0.15	2.8	1.00	2.2
1.1 室内騒音レベル		【待合】待合室50dB(A)【診察】診療室40dB(A)【宿泊】病室35dB(A)		3.0		0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音				1.8		0.40	1.6	0.40		
1	開口部遮音性能			3.0		0.40	3.0	0.30		
2	界壁遮音性能			1.0		0.60	1.0	0.30		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	1.0	0.20		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	1.0	0.20		
1.3 吸音				1.0		0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境						2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御				3.0		0.50	3.0	0.50		
1	室温			3.0		0.50	3.0	0.57		
2	外皮性能			-		-	3.0	0.43		
3	ゾーン別制御性			3.0		0.50	-	-		
2.2 湿度制御				1.0		0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0		0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境						3.0	0.25	3.6		1.00
3.1 昼光利用				3.0		0.43	4.2	0.30		
1	昼光率	【共用】対象外 【宿泊】2.84%		-		-	5.0	0.60		
2	方位別開口			-		-	-	-		
3	昼光利用設備			3.0		1.00	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				-		-	4.0	0.30		
1	昼光制御	【共用】対象外 【宿泊】カーテン+庇		-		-	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0		0.21	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0		0.36	3.0	0.25		
4 空気質環境						3.9	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策				4.0		0.50	4.0	0.63		
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の積極的な採用		4.0		1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0		0.30	3.3	0.38		
1	換気量			3.0		1.00	3.0	0.33		
2	自然換気性能	【事務所】0.067>(1/15) 【ホテル宿泊】0.055>(1/20)		-		-	4.0	0.33		
3	取り入れ外気への配慮			-		-	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0		0.20	-	-		
1	CO ₂ の監視			-		-	-	-		
2	喫煙の制御	【共用】対象外 【宿泊】病室2床室 AW-28 0.067>(1/15)		5.0		1.00	-	-		
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.4
1 機能性						3.1	0.40	2.8	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ				4.0		0.40	3.0	0.60		
1	広さ・収納性			-		-	3.0	1.00		
2	高度情報通信設備対応			-		-	-	-		
3	バリアフリー計画	バリアフリー新法の望ましいレベルを満たす		4.0		1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0		0.30	2.5	0.40		
1	広さ感・景観	【宿泊】個室:13.83㎡/床 2床室:9.66㎡/床 4床室:7.86㎡/床		-		-	4.0	0.50		
2	リフレッシュスペース			-		-	-	-		
3	内装計画			1.0		1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0		0.30	-	-		
1	維持管理に配慮した設計	③適度な水使用可(EVホール、WC)④ホコリの溜まりにくい設計⑤風除室扉間:3.5m⑥一室で異なる床材の使用なし⑧バルコニー設置により壁面汚れ防止⑩亜鉛メッキ処理		4.0		0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保	(特定建築物に該当しない)②⑤SK設置④医療廃棄物、可燃・不燃ゴミ置場⑥清掃用電源を計画⑦バルコニー設置による安全な維持管理作業⑨⑪共用部での維持管理可、屋上設備スペース		4.0		0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性						3.8	0.30	-	-	3.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6		0.50	-	-		
1	耐震性(建物のこわれにくさ)	50%増の耐震性		5.0		0.80	-	-		
2	免震・制震・制振性能			3.0		0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2		0.30	-	-		
1	躯体材料の耐用年数			3.0		0.20	-	-		
2	外壁仕上り材の補修必要間隔			2.0		0.20	-	-		
3	主要内装仕上り材の更新必要間隔			3.0		0.10	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0		0.10	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種B以上を使用		5.0		0.20	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0		0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8		0.20	-	-		
1	空調・換気設備			3.0		0.20	-	-		
2	給排水・衛生設備			3.0		0.20	-	-		
3	電気設備			3.0		0.20	-	-		
4	機械・配管支持方法			3.0		0.20	-	-		
5	通信・情報設備			2.0		0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.4	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	3.8	0.50	
1	階高のゆとり	【共用】4.0m 【宿泊】3.8-4.0m(平均3.9m)	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	【共用】比率:0.17 【宿泊】比率:0.68	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
・周辺景観との調和・緑地による良好な景観形成・再生木材の使用							
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m :0.90	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.9	0.50	-	-	2.9
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
ライフサイクルCO2排出率:84%							
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害対策ガイドライン、広告物照明の取扱いの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

道路面からの圧迫感、近隣への日影等考慮して道路境界線から6.0m程引いて計画した。近隣との視線に考慮して目隠しパネルをバルコニーに設置した。屋上緑化とした。色彩を近隣に目立たないように考慮した。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆建材を使用した。全館禁煙とし空気環境に配慮した。

Q2 サービス性能

設備系統はメンテナンスを考慮した計画とした。

Q3 室外環境（敷地内）

屋上に緑化とし暑熱環境に配慮した。

LR1 エネルギー

屋上断熱を外断熱とし遮熱性を高めた。

LR2 資源・マテリアル

断熱材は全てノンフロン。

LR3 敷地外環境

道路幅員が4.0mと狭い状況なので、敷地境界線より1.0m道路として使用出来るように配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)東熊本病院移転新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		78
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				74.2	0.40	29.68
Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	4.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	4.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	2.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	2.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				83.7	0.20	16.74
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	4.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	5.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				80	0.20	16.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	4.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				79.5	0.20	15.90
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数